

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

手足口病に気をつけましょう！

熊本市における第16週(4月13日～4月19日)の定点医療機関あたりの手足口病患者報告数は、3.00人(定点数16ヶ所、患者報告数48人)で、前週(3.31人)より減少しましたが、比較的報告数が多い状況です。

手足口病は、5歳までの子ども、特に2歳以下の乳幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症で、口の中、手のひら、足の裏や足の甲などに2～3mmの水疱性の発疹が出ます。年間を通じて、感染する可能性がありますが、7月が流行のピークとなることが多く、これから更に増加する可能性があり、注意が必要です。便や咳、くしゃみから感染しますので、排便処理後、食事前、調理前の手洗いやうがいなどが感染予防に有効です。

感染性胃腸炎に引き続き注意しましょう！

定点医療機関あたりの感染性胃腸炎の患者報告数は、6.56人(定点数16ヶ所、患者報告数105人)となり、前週(4.81人)よりも増加しました。引き続き、手洗いなどの感染予防策をしっかりと行いましょう。

期 間		平成27年 第15週		平成27年 第16週	
		4/6～4/12		4/13～4/19	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	22	0.88	35	1.40
RSウイルス感染症	↑	0	0.00	6	0.38
咽頭結膜熱(プール熱)	→	3	0.19	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	15	0.94	21	1.31
感染性胃腸炎	↑	77	4.81	105	6.56
水痘(みずぼうそう)	→	11	0.69	5	0.31
手足口病	↓	53	3.31	48	3.00
伝染性紅斑(りんご病)	→	6	0.38	2	0.13
突発性発しん	→	16	1.00	17	1.06
百日咳	→	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	→	2	0.13	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	9	1.80	7	1.40
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	→	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	5	1.00	2	0.40